

令和8年度 病虫害防除技術情報 第7号

令和 8 年 7 月 21 日
大分県農林水産研究指導センター
農 業 研 究 部

落葉果樹（特にナシ）におけるハダニ類の防除について

ハダニ類は、高温乾燥条件で発生が助長される害虫です。福岡管区気象台の発表によると、本年の梅雨明けは、7月8日と平年（7月19日）より11日早くなりました。今後も本虫が発生しやすい高温乾燥条件が続くと考えられるため、発生状況に注意し、早期発見に努めて速やかに防除を実施してください。

1. 発生の状況

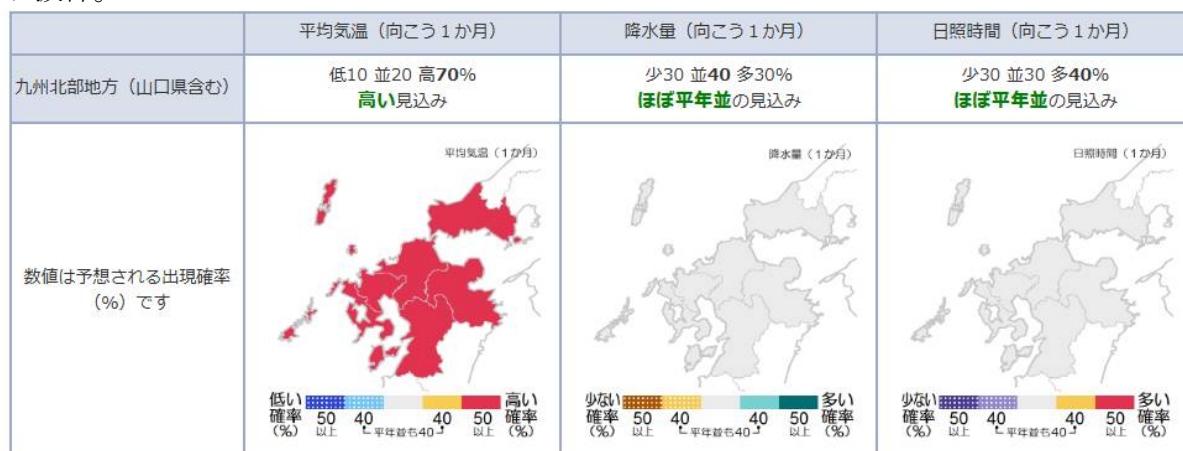
落葉果樹でハダニ類の発生が確認されました。特にナシでは発生が多く、調査した8圃場中3圃場や調査外圃場において、防除で死亡した本虫が多数確認されており、調査前まで多発生していたことが伺えました。

2. 今後の気象状況

7月16日に福岡管区気象台が発表した「九州北部地方1か月予報」（7月18日から8月17日まで）では、平均気温は平年並20%、高い確率70%、降水量は少ない確率が30%、平年並40%と予想されています（以下参照）。気温は、平年並か高いとの予報であり、本虫は高温乾燥条件で発生が助長されるため、注意が必要です。

福岡管区気象台のホームページ

（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010900&term=P1M>）より抜粋。



3. 防除上の注意事項

- (1) 本虫は高温乾燥条件で多発しやすいため、圃場をよく観察し、早期発見に努めて速やかに防除を実施する。
- (2) 本虫は紫外線を嫌って下葉の裏に多く生息するので、薬液が葉裏にかかるように丁寧に散布する。また、短期間に複数回散布すると効果が高まる。散布は曇雨天時を避け、薬剤が速やかに乾く晴天時に行い、薬害に注意する。
- (3) ハダニ類の薬剤抵抗性発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続使用は避ける。使用薬剤は大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」の「なし」、「ブドウ」（ハダニ類）の項目を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。特に同一成分を含む薬剤を連用しないようローテーション散布を心掛ける。

ホームページアドレス

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujosho/>

